

ふるさと納税のご寄付ありがとうございました。



美郷町の発展のために使わせていただきました。

『新型コロナ支援等商工業活性化』事業に寄付を使わせていただきました。

■次の事業を行って、町内商工業者の支援を行っています。

○ 美郷町消費喚起事業

新型コロナウイルス感染症の影響を受けた町内の消費を喚起・拡大することを目的として、町内の商店等で購買できる 30%プレミアム付き商品券を発行しました。

取扱店舗数：173 店舗 換金枚数：103,772 枚

○ 時間短縮営業要請等協力金

県の飲食店に対する時間短縮要請に協力をする町内飲食店に対する協力金を交付しました。

(8月・9月緊急事態宣言対応分) 8/14～9/30 の 48 日間

時短営業：30 件 自主休業：12 件

(まん延防止等重点措置1月・2月対応分) 1/25～2/13 の 20 日間

時短営業：16 件 自主休業：8 件

(まん延防止等重点措置2月・3月対応分) 2/14～3/6 の 21 日間

時短営業：15 件 自主休業：9 件

『救急搬送 民間救急救命士』の救急業務に寄付を使わせていただきました。

■救急搬送 民間救急救命士とは

消防署等の常備消防が設置されていない自治体が全国で29町村あります(2020年3月末)。そういった自治体では、一般行政職員や一般消防団員が医療行為を行わずに、ただ単に搬送を行うだけで、医療サービスが低くなっています。

美郷町では、それを解消するために、日本で初めて民間企業(日本救急システム株式会社：通称 JEMS)の救急救命士による自治体救急車の運行を 2015 年 6 月 1 日から開始しました。

■ JEMS の活動内容

自治体の救急業務の他、学校や町民への救急講習、イベントでの救護活動も行っています。



『美郷町総合戦略アドバイザー派遣』事業に寄付を使わせていただきました。

■美郷町総合戦略とは

子どもたちが美郷町に帰ってきたいと思える環境づくりのため、町内全24地区での地区別定住戦略の策定をしていきます。令和3年度には13地区で戦略を策定しました。

○人口減少に歯止めをかけるため、地域との協働による丁寧なボトムアップ型の取り組みを行っていきます。

- ・地域の課題を考えて共有する。
- ・地域の課題対策を考える。
- ・地区別戦略を策定 ⇒ 実行する。



『福祉工房ゆめたまご』の活動に寄付を使わせていただきました。

■福祉工房ゆめたまごとは

障がいを持っている方々のに日中活動の場を提供して、生活活動を通して仲間との交流や社会参加をしながら自分らしく生き生きと暮らせるサポートしています。

■活動内容は

◎オリジナル布製品の制作、販売 ◎農作業 ◎清掃作業 ◎香典返し制作
アロマ制作の活動も始めました。



『美郷町の特産物である、備長炭やしいたけ、しきみ等の産地づくり』に寄付を使わせていただきました。

美郷町では備長炭やしいたけ、しきみ等の生産が行われており、山村地域の貴重な収入源として重要な役割を果たすと共に、移住者などの就労機会の創出や地域経済の振興に貢献しています。

中でも美郷町で生産されている備長炭”日向備長炭”、この製炭活動は県の無形民俗文化財に指定されており、重要な産業であると同時に、町の誇るべき文化となっています。

■事業概要

しいたけ乾燥機 1 台 製炭窯 2 基 保管庫 2 棟 人工ほだ場 1 式 管理道改良 3 8 0 m

菌床施設空調設備 1 式 運搬車 1 台 木割機（木炭） 1 台 スライサー（しいたけ） 1 台



『子育てをし易い環境づくり』に寄付を使わせていただきました。

■次の事業を行って、子育てをし易い環境をつくっています。

（～令和 3 年 9 月 30 日）

- 0 歳～6 歳を対象に、一月の医療費の一部負担金が 350 円を超える場合に、当該超過額及び調剤代を全額助成しています。
- 小学 1 年生～中学 3 年生を対象に、一月の医療費の一部負担金が 1,000 円を超える場合に、当該超過額及び調剤代を全額助成しています。

（令和 3 年 10 月 1 日～）

- 0 歳～中学 3 年生を対象に、超過額及び調剤代を全額助成しています。

（その他現行の助成内容）

- ひとり親世帯の子どもに一月の医療費の一部負担金の合計額から、1,000 円を控除した額を助成しています。
- 保護者が就労等で昼間家庭にいない児童に対し、学校の授業終了後や夏休みなどの長期休業期間中に安心して生活できる場を確保しています。

